

かんきょう立山

環境に配慮した「エコライフ」で
地球温暖化防止に努めましょう！！

第 2 8 号

発行: 令和 5 年2月
編集: 立山町環境保健衛生協会
住所: 立山町上金剛寺210
ホームページ: kankyotateyama.jp

当協会は、立山町の全世帯を会員として組織し、運営している団体です。
「快適できれいな生活環境をめざして
豊かな水と緑あふれる美しい町



健康で明るい町 立山」をスローガンに、
ごみの分別活動・不法投棄の防止・指定河川の清掃・害虫駆除・地球温暖化防止活動
・食品ロス対策を推進しています。

◇ 事業報告

リサイクル活動について



令和4年2月から11月までの立山町リサイクル還元金の合計額は約277万円でした。還元金は、各支部の活動資金として活用されています。お世話いただいた各支部・集落の皆様、お疲れ様でした。



リサイクルにより各支部に還元される金額

- アルミ: 100円/kg
- スチール: 5.5円/kg
- ペットボトル: 10円/kg
- ビール瓶: 5円/本

環境衛生活動について

衛生害虫駆除

当協会では、各支部に薬剤散布機を貸し出しています。6月から10月までに9支部の78集落で散布機による害虫駆除が実施されました。

川をきれいにする運動

町内河川の内11指定河川で清掃活動が実施され、5支部で延べ204名の方が参加されました。

一斉清掃活動

8支部の44集落で一斉清掃活動が実施され、合計1,380名の方が参加されました。

環境巡視活動について

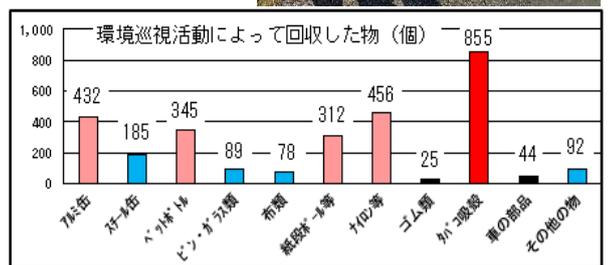
事務局の環境巡視活動(役場西側道路にて)→

役員・各地区代表の方々が定期的に環境巡視活動を行ない、不法投棄物を早期に発見するなど、環境美化に努めました。4月から12月まで50回実施し、道路や公共施設で大小合わせて2,913個の投棄物を発見・回収しました。また、当協会事務局においても、11月16日に常務理事の方々と環境巡視活動を実施しました。参加された皆様、お疲れ様でした。



普及啓発活動について

令和4年10月29日に高岡文化ホールで開催された第67回富山県環境保健衛生大会に於いて、環境に関するポスター・壁新聞コンクールの受賞式が行われました。立山町内からは壁新聞の部で次の児童3組が入選されました。



優秀賞(壁新聞の部)

- 立山中央小学校5年 定塚 麻恩さん
- 利田小学校 4年 菅田 佳歩さん
- (共同作品) 4年 池田 希衣さん
- 4年 佐々木 六花さん



授賞式に参加された、(左より)定塚さん、池田さん、佐々木さん

佳作(壁新聞の部)

- 利田小学校 4年 井澤 優斗さん
- (共同作品) 4年 本多 豪太さん



世界のエコマーク(菅田さん、池田さん、佐々木さんの記事)

◇ 地区活動紹介

< 新川支部 > ~ SDGs 基本理念に感銘して ~



↑↓皆さんが清掃活動しているところ



新川地区の環境衛生活動を紹介します。新川地区は、立山町の一番北部にあり、河川や道路に捨てられるペットボトル、缶、プラスチック等々の最終地点である。月に一度環境パトロールを実施し、新川地区内のポイ捨てごみを収集している。また、集落の皆様は、この一年河川の清掃、地域の清掃活動に勤しんで成果を上げてきた。ここで見逃せば、海へ流れていき海洋汚染につながる。アンカーの誇りを胸に、一つも見逃さない思いで拾い集めてきた。老いも若きも共に汗してきた。未来を担う小学生もたくさん参加している。彼らが、不用意に捨てられるペットボトル・アルミ缶を見て、拾い集めるその行為がリサイクルに連なり、自分は、捨てる側にはならないと決意することであろう。これこそが、生きた学習である。

心無い人たちの不用意なポイ捨て行為に、どうすれば、その行為を無くせるのか？ポイ捨て禁止の看板も掲示されている。テレビ・マスコミも報道してくれている。広報誌でも紹介している。様々に警鐘を鳴らしていても、ポイ捨ては無くならない。家庭と教育機関での生きた教育以外に解決の方途



大人と一緒に清掃活動する子供

◇ お知らせ

木材チップはいかがですか？



木材チップパー機



木材チップ

立山町環境センターでは、剪定枝等の木材チップを無料でお渡ししています。木材チップは、主に、庭への敷き詰め、または、ガーデニングのマルチングなどに使われています。また、生ごみと一緒に堆肥化すれば、腐臭を抑える効果も有ります。使ってみようかなと思われる方は、立山町環境センターまで取りに来てください。なお、入れ物として、ビニール袋やプラスチック容器等をご持参ください。スコップは常備してありますので、ご自分で搬出作業されます様お願いします。また、軽トラの荷台に積載することもできます。なお、積雪時や在庫が無い場合は搬出できないこともありますので、左の問い合わせ先まで連絡されてからお越し下さい。

【問合せ先】立山町環境センター
住 所：立山町上金剛寺 210
電話番号：463-0780
受付時間：平日 9 時～16 時

協賛企業紹介 コーセル(株)立山工場 様

電子機器、電機機械器具の
製造および販売事業

立山町道源寺 78

☎ 464-1100

◇ コラム

最近、SDGs (エスディージーズ) の言葉を、ニュースでよく耳にします。筆者は、「何だかよく分らん。」と思っておりました。そこで少し調べてみたら、SDGs は、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (2030 年までに達成)」のことで、日本政府も積極的に取り組んでいるのだそうです。それでも、なんだか難しそう。調べると、SDGs には 17 もの目標が有るとのこと。その 12 番目に、「つくる責任、つかう責任」というのが有るそうです。「つくる責任」は生産者である企業の責任で、消費者である私たちが、日々リサイクルを行なっているのが「つかう責任」に入るそうです。

生ごみを、コンポストや生ごみ処理機で堆肥化することも『SDGs の 12 番のつかう責任』になります。以前、クリーンセンターの職員に聞いたところ、生ごみには水分が多く含まれるため、焼却するのにより多くの化石燃料が使われると言っておられました。つまり、SDGs の 12 番目は地球環境に良い行いをするのであり、SDGs には 17 番目まで有りますが、見ていると、その全てが人と環境にやさしい取り組みだと分ります。もっと SDGs について知りたい方は、ネットや書物で調べてみられてはいかがですか。(事務局)



12 つくる責任
つかう責任



SDGs の 12 番目の
マーク